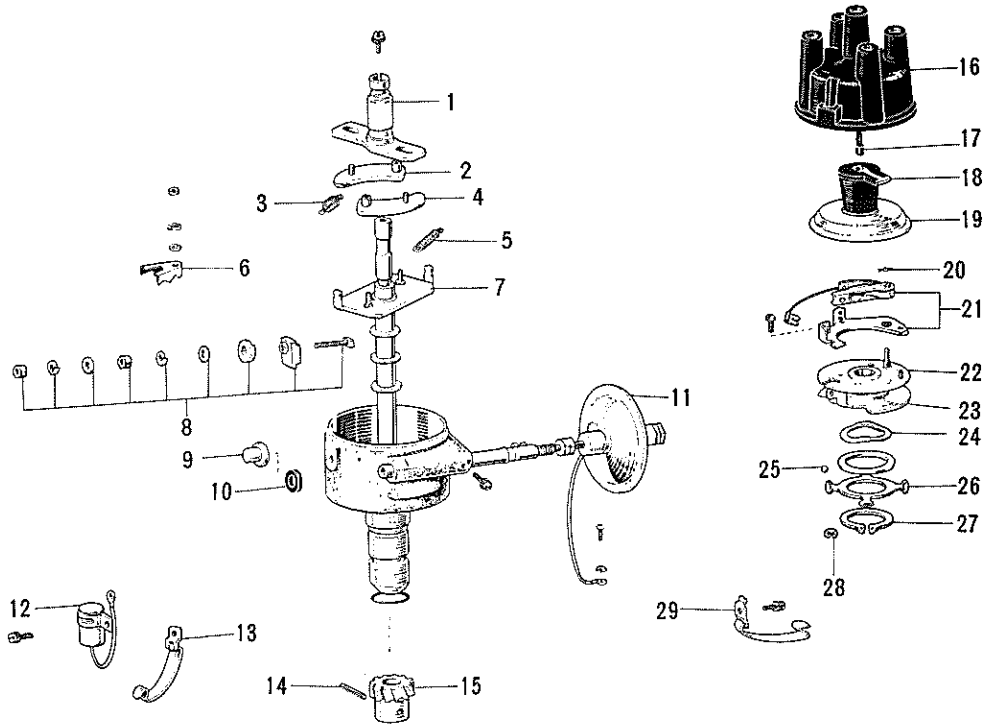
**3**

エンジン エレクトリカル

構成部品	3-2
仕 様	3-3
進角特性	3-3
取りはずし	3-4
取り付け	3-4

構成部品



- | | |
|-----------------------------------|---------------------------------|
| 1 カム サブ アツセンブリ, デイストリビュータ | 16 キャツプ |
| 2 ウェイト, ガバナ | 17 ピース, デイストリビュータ キャツプ センタ |
| 3 スプリング, デイストリビュータ ガバナ, B | 18 ロータ サブ アツセンブリ, デイストリビュータ |
| 4 ウェイト, ガバナ | 19 カバー, ダスト フルーフ デイストリビュータ |
| 5 スプリング, デイストリビュータ ガバナ, A | 20 リング, スナツプ |
| 6 グランプ サブ アツセンブリ, デイストリビュータ | 21 デイストリビュータ キツト |
| 7 シヤフト アンド プレート, ガバナ デイストリビュータ | 22 プレート, デイストリビュータ プレーカ |
| 8 ターミナル, デイストリビュータ | 23 プレート, ステーションナリ, デイストリビュータ |
| 9 キャツプ, アジヤスタ, デイストリビュータ | 24 ワツシヤ, ウェーブ |
| 10 ワツシヤ | 25 ボール, デイストリビュータ ステーションナリ プレート |
| 11 アドバンサ アツセンブリ, パキユーム, デイストリビュータ | 26 スプリング |
| 12 コンデンサ, デイストリビュータ | 27 リング, スナツプ |
| 13 スプリング, デイストリビュータ キャツプ, B | 28 リング, スナツプ |
| 14 ピン | 29 スプリング, デイストリビュータ キャツプ, A |
| 15 ギヤ, スパイラル, デイストリビュータ | |

第3-1図 構成部品

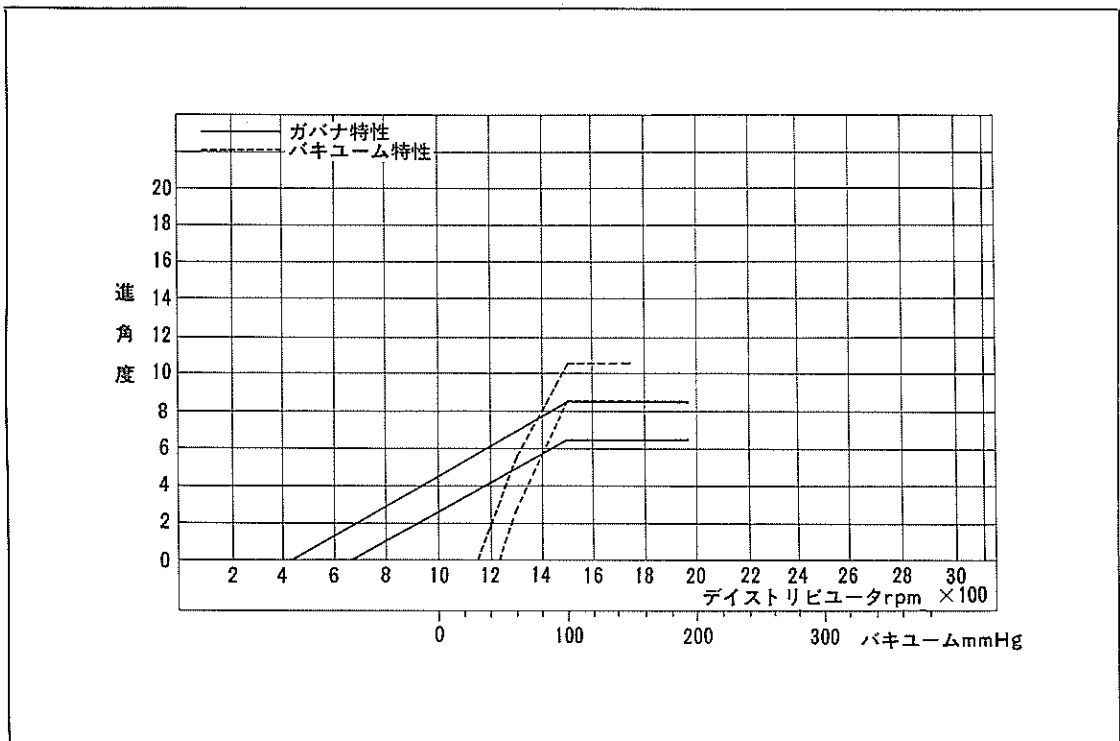
S1619

仕 様

第3-1表 デイストリビュータ仕様

コンデンサ容量 (μF)	0.20 ~ 0.24	
ポイント接点圧 (g)	400 ~ 550	
ポイントすき間 (mm)	0.4 ~ 0.5	
カムクローリングアングル (度)	52	
キャツプのコンタクトピース (mm)	3	
ガバナシャフト曲り限度 (mm)	0.05	
ガバナシャフトスラストすき間 (mm)	0.15 ~ 0.50	
ブレーカプレートしゅう動抵抗 (g)	200 ~ 500	
バキューム進角 (mmHg) (度)	30 ~ 50	立ち上り
	60	2.5 ~ 5.5
	100	8.5 ~ 10.5
ガバナ進角 (rpm) (度)	550	立ち上り
	1300	5 ~ 7
	1500	6.5 ~ 8.5
オクテンセレクトター目盛り進角度 (クランク角度)	10.0°	

進角特性

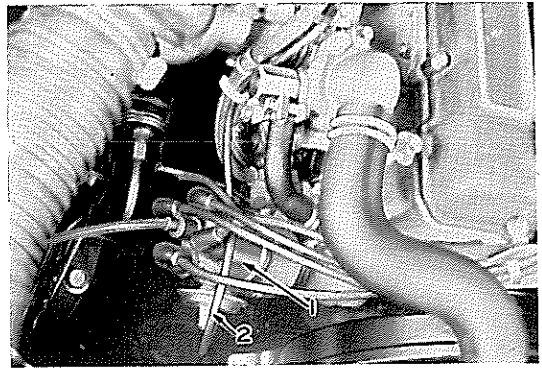


第3-2図 進角特性

S1620

取りはずし

- 1 デイストリビュータ キャップ(1)を取りはずす。
- 2 バキューム ホース(2)を取りはずす。
- 3 一次線を取りはずし、ナット（デイストリビュータ取り付け用）を取り、クランプとともにデイストリビュータを取りはずす。

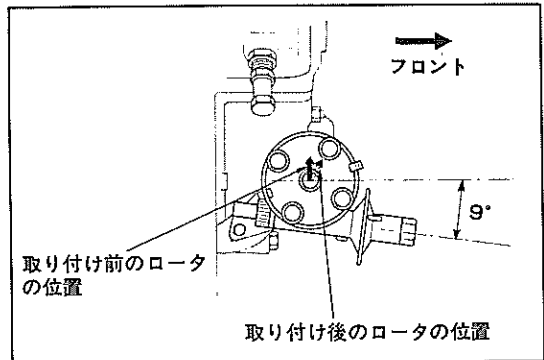


第3-3図 取りはずし

C1117

取り付け

- 1 No.1 シリンダの点火時期にクランクシャフトを回して合わせる。
点火時期 15° BTDC
- 2 デイストリビュータ ボデーの位置を右図の位置に置く。
- 3 ロータがデイストリビュータ キャップの1番に向き、かつ右回りするカムがブレーカアームを押し上げてポイントが開く寸前にシャフトを合わせる。
- 4 この状態からロータを30°（スパイラルギヤで約1歯）反時計方向に回しておいてシリンダブロック本体にそう入する。
- 5 再びブレーカアームがカムに押し上げられポイントが開く寸前になるようにハウジングを動かして調整し、ナットを締め付ける。



第3-4図 取り付け

G9464

- 6 後の作業は取りはずしの逆に行なう。
- 7 タイミング ランプを使用して、イグニッション タイミングを調整する。
- 8 走行テストを行ない、オクテン セレクタの調整を行なう。